

佐渡市地産地消フェスタ2016&佐渡市環境フェア2016が開催されました

11月19日(土)、サンテラ佐渡スーパードリーナを会場に、佐渡市地産地消フェスタが開催されました。今年には佐渡市環境フェアも同時に開催され、約4千人の方にご来場いただき、地産地消活動とエコ活動の両方を楽しめる催しとなりました。

◆佐渡市地産地消フェスタ

「地産地消で佐渡を元気にしよう！」のスローガンのもと、佐渡市地産地消計画に基づく「生産者と消費者を結ぶ交流ならびに啓発促進」の場として、今回で7回目の開催となりました。

今年も、見附市出身で地域活性化モデルの今井美穂さんを司会に迎え、



司会を務めた今井美穂さんとオープニングアクトを飾った「住吉うしお樽ばやし&姐樽」の皆さん

オープニングアクトを「住吉うしお樽ばやし&姐樽」の樽太鼓演奏が飾りました。

佐渡金銀山世界遺産登録祈願と佐渡産牛乳の啓発イベントとして、来場者に佐渡牛乳200mlパックを積み、1,000本配布し、空パックを積み重ねて佐渡金銀山のシンボル「道遊の割戸」づくりを挑戦しました。来場者の皆さまのお力により、見事1,000本を消費し、「牛乳の割戸」を完成させることができました。

また、佐渡産の農産物が当たる「食べんかさ・飲まんかさキャンペーン抽選会」、28店舗が参加した物販「佐渡まるごとふれあい市」、佐渡産



完成した佐渡牛乳パック1,000本の「道遊の割戸」

野菜の花と実の組み合わせを当てる「食育クイズ」、恒例となったスイーツ販売会など、佐渡産食材のおいしさと活用方法を広くPRする盛りだくさんの内容となりました。

このほか、佐渡市工業会による「ものづくりフォーラム」では、市民の皆さんから市内のものづくり企業をより知ってもらうため、工業製品の展示ブースや体験コーナーを設置しました。来場した親子連れは、パークラフトやキーホルダーづくり、木製パズルづくりを楽しみながら、企業のもつ技術や「ものづくり」に関心を寄せていました。



佐渡市工業会による「ものづくりフォーラム」

◆佐渡市環境フェア

佐渡の美しい自然を守るために、佐渡をあらためて知り、次の世代に引き継いでいく方策を考えてもらうイベントとして、佐渡市環境フェアを開催しました。

来場者は、取り組み展示を見て景品をゲットできるスタンプラリーや「環境ミニツアー」など、楽しみながら佐渡の環境について学びました。また、新潟県出身の真打ち落語家三遊亭白鳥師匠による「笑顔で守る佐渡の環境」と題した環境落語も行われ、観客を魅了していました。



三遊亭白鳥師匠による環境落語